２０１７年度関西学生バスケットボールリーグ戦

男子　　１部リーグ戦

試合日	2017.09.06
開始時間	18:30
会場	枚方市立総合スポーツセンター
コート	B　コート
試合ＮＯ	112

勝チーム			敗チーム
京都産業大学	74	18 - 16 14 - 17 23 - 24 19 - 9	66	大阪学院大学
勝ち点３			勝ち点２

戦評

【総括】
関西学生バスケットボールリーグ戦3日目。平日開催となった今日のカードは、お互いに第1・2戦を連勝で飾った大阪学院大学と、京都産業大学との対戦となった。どちらも勝てば3連勝、負ければ今季初黒星となる重要な一戦は
白熱した戦いであった。大院大の注目は#8吉井。2試合連続で得点とリバウンドのダブルダブルをマークしており、攻撃の核となる。対する京産大の注目は#30大庭。得点力とともに兼ね備えた巧みなパス捌きで、チームの攻撃を後押しする。
試合は全体を通してどちらがリードを保ち続けるということはなく、常にデッドヒートの展開であった。
前半は両チーム互いにセットプレー等を仕掛け、ずれを生み出すことに成功し、着実に得点を重ねていく展開や、早いパス展開からの3Pシュート、合わせなどスピーディな戦いとなった。
後半では互いにミスが見られ、ターンオーバーも少なくなく、速攻などで得点を奪い合うという展開が多かった。
差がついたのは第4ピリオド。依然として両者ドライブやジャンプショットなどで点を取り合っていたが、
京産大がわずかにジャンプショットを決め、そして相手のショットミスを見逃さないリバウンドなど、
結果としては74-66で京産大が勝利したものの、常に小さな点差の中で戦いが続いたこのゲームは
とても白熱したゲームとなった。

【第1ピリオド】
先制は大院大。ポストにいた#8吉井のスクリーンから#35吉川がフリーでの3Pを決める。
京産大も負けず劣らずオフェンスリバウンドから再び展開し、#30大庭のドライブから逆サイド#38リンダーへの
合わせによる得点など、序盤からスピーディに試合が進む。
ピリオドを通して点差は縮まらず、デッドヒートを繰り返す。中でも大院大#31福田と京産大#21会田の
ポストポジション争いは激しく、ポストを絡めた戦略も多く見られた。
最後の大院大のセットプレー、1-4によるセットは、初手ははずれ、大院大も果敢に最後のシュートを沈めようと
果敢にオフェンスリバウンドに飛び込むも、京産大がしっかりとアウトし、京産大リードの18-16で第1ピリオドを終えた。

【第2ピリオド】
京産大ボールで始まったこのピリオドは、京産大がセットプレーを仕掛けうまく相手の出所を誘い、得点に成功。
大院大#45藤井と京産大#1永尾のマッチアップでは、相手の余裕を妨げるプレッシャーをかけ、
セットプレーも容易にはいかなかった。
ピリオド中盤、得点は未だ4点差とさほど開いたようには思えない点差であったが、点差だけでは知ることのできない互いのディフェンスの継続力がそこにあった。第1ピリオド以上にシュートチェックにも厳しく、合わせにも順応してきたため、得点が難しくなっていた。しかし、残り3分で京産大はターンオーバーを許してしまい、またその後も立て続けに点を与えてしまい、大院大に逆転を許してしまう。リードを取り返したい京産大は、最後にセットプレーを図り、左右にボールを振り、#38リンダーへの流れを上手く作り、シュートを決めるも、このピリオドは大院大が逆転し1点リードした。

【第3ピリオド】
第3ピリオドは、速攻・ターンオーバーが繰り返し起き、再び激しい展開となった。
その中でも大院大#9雲井は、連続3Pシュートを決めるなど、小さな点差の攻防で、京産大にとっては大きな痛手となったが、それでも#3髙田の速攻や、#14川口の3Pシュートなどで得点を重ね、中盤には逆転に成功。終盤になってもセットでのプレーよりも、アーリーな展開によるオフェンスや、速攻からのストップジャンプシュートなどを着実に決める流れが多かった。早い展開においても、セットオフェンスのようなうまくかみ合った流れにより得点を重ねた大院大がリードで第3ピリオドを終えた。

【第4ピリオド】
小さく、しかしおおきな点差となったこの試合が決まる第4ピリオド。開始直後に京産大が逆転に成功。
京産大#14川口から#38リンダーへのパス、ノーマークでのシュートが決まり3点差、また中盤には#30大庭の3Pシュートで
6点差と、リードを奪いたい大院大は、#35吉川のドライブイン、そして#30木下のスティールからの速攻などで差を縮める。#8吉井のパワフルなリバウンドもあり、なんとかシュートチャンスを増やして食らいつく。
残り2分で未だ京産大が6点リード。終盤でも落ち着いたパスを見せる大産大#3髙田。上手く相手のプレッシャーをかわし、味方へのシュートへつなぐ。
最後まで全員でボールを奪いに行った大院大であったが、あと一歩及ばず74-66で京産大が勝利した。

主審	田中 智也	副審	幡丸 登志久	戦評	尾澤利隆(関西学連)
		記録	関西学生バスケットボール連盟		

京都産業大学

No.	S	選手名	PTS	３Ｐ 成功	３Ｐ 試投	２Ｐ 成功	２Ｐ 試投	ＦＴ 成功	ＦＴ 試投	F	REBOUND OR	REBOUND DR	REBOUND TOT	TO	AS	ST	BS	MIN
1		永尾 友弥	4	0	0	2	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	11
3	*	髙田 颯斗	7	1	2	2	4	0	0	1	0	3	3	0	8	0	0	26
7		辻 陸矢	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	5
14	*	川口 廉人	8	2	4	1	2	0	0	2	0	2	2	2	2	1	0	38
16		川尻 政宏	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	5
17		具鍋 良太	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6
21	*	会田 太朗	13	0	0	6	11	1	2	2	1	1	2	1	2	0	2	40
30	*	大庭 岳輝	20	4	10	3	10	2	4	1	2	9	11	1	4	2	1	34
38	*	リンダー ライアン雅輝	22	2	7	7	12	2	2	3	2	15	17	2	3	1	0	33
55		田中 亮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach		村上 和之								0	0	0	0	0				
合計			74	9	23	21	46	5	8	12	6	30	36	7	19	5	3	200
			RATE	39.1%		45.7%		62.5%										

大阪学院大学

No.	S	選手名	PTS	３Ｐ 成功	３Ｐ 試投	２Ｐ 成功	２Ｐ 試投	ＦＴ 成功	ＦＴ 試投	F	REBOUND OR	REBOUND DR	REBOUND TOT	TO	AS	ST	BS	MIN
2		中積 潤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
8	*	吉井 裕鷹	20	0	1	9	13	2	4	2	3	11	14	0	3	2	2	40
9	*	雲井 嵯平	17	3	6	3	6	2	2	1	0	4	4	1	2	0	1	40
13		山中 将輝	2	0	0	1	5	0	0	1	1	7	8	1	0	0	1	26
30	*	木下 誠	15	1	6	6	12	0	1	1	2	1	3	3	3	1	1	35
31	*	福田 惟吹	2	0	0	1	6	0	0	2	0	2	2	1	0	0	0	13
35	*	吉川 拓己	10	0	2	5	12	0	0	0	0	4	4	2	1	2	0	40
45		藤井 成悟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach		行広 伸太郎	-							0	0	0	0	0				
合計			66	4	15	25	54	4	7	7	6	29	35	9	9	5	5	200
			RATE	26.7%		46.3%		57.1%										